



世界も中国も楽しむ！ 上海エンタメ入門

海外ミュージカルやジャズライブ、中国映画や現代アートなど、上海には多彩なエンタメが集まっている。今回は映画、観劇、音楽、アートの4ジャンルから、今人気のイベントとチケットの買い方を案内します。

映画

上海の映画館では、ハリウッド大作や中国映画まで幅広く上映されている。日本より上映期間が短めで、人気作でも早めに観に行くのが安心。一方、名作のリバイバル上映や特別上映も多く、週末の気軽な娯楽にぴったり。

国際派はコレ！ 上海国際映画祭



世界各国の作品が集まる、上海を代表する映画イベント。名作のリバイバルから新作の特別上映まで幅広く、普段の映画館では出会えない1本に出会えるチャンス。

中国派はコレ！ 『給阿嬷的情書』



世界各国の作品が集まる、上海を代表する映画イベント。名作のリバイバルから新作の特別上映まで幅広く、普段の映画館では出会えない1本に出会えるチャンス。

チケットの取り方

アプリ「猫眼」や「淘票票」で作品、映画館、時間、座席を選んで支払い。購入後はQRコードを使い、映画館の発券機でチケットを受け取ればOK。映画祭などの特別上映はアプリ「大麦」も要チェック。

ステージ

上海は海外ミュージカルやバレエ、クラシック公演から、中国語の話劇や雑技劇まで楽しめる劇場都市。大劇場の本格公演も、小劇場のローカル作品も多く、言葉が不安な人はまず音楽・ダンス系から入るのがオススメ。

国際派はコレ！ フランス語原版ミュージカル『The Red Shoes』



アンデルセン童話をもとにした暗黒童話系ミュージカル。フランスならではの美意識とダンス、音楽が融合し、言葉がわからなくても浸れる一作。

中国派はコレ！ 中国語ミュージカル『入雁』



巫女の伝説を軸に、少年少女の成長と故郷の秘密を描く。伝統的な物語性と現代的な舞台演出が交わる、中国発舞台の今を感じられる作品。

チケットの取り方

観劇チケットは主に「大麦」や劇場公式微信ミニプログラムで購入。公演名、日時、座席を選び、パスポート情報を入力して支払う。購入後は電子チケットやQRコード、または身分証確認で入場する場合が多い。

世界も中国も舞台で体感

上海のステージ系エンタメは、海外ミュージカルやバレエ、クラシックから中国オリジナル作品まで幅広い。日本ではなかなか見られないフランス語ミュージカルや欧州系舞台も多く、国際巡演の中国公演地に上海が選ばれることも珍しくない。言葉が不安でも見知った作品なら見やすく、音楽やダンス、舞台美術で楽しめやすいのが魅力だ。一方で近年、中国語オリジナルミュージカルの勢いも増している。伝統文学や地方伝説、青春物語を題材にした作品が次々と登場し、若い観客を中心に熱狂的な人気を集める。

まずは映画館から入門

上海でエンタメデビューするなら、まずは映画館が手軽。ハリウッド大作や中国映画まで作品数が多く、チケット代も日本に比べてかなり手頃だ。映画館によってはIMAXや寝そべりシート付きのVIPルーム、マッサージ機能が付いた席などもあり、設備で選ぶ楽しさもある。

今オススメの作品は、国際派なら「上海国際映画祭」に注目。世界各国の作品や名作のリバイバル上映に出会える。中国派なら、潮汕地方を舞台に家族の記憶を描く『給阿嬷的情書』など、口コミで広がる話題作もおもしろい。

チケットは微信なら「猫眼」、「支付宝(アプリ)」なら「淘票票」で作品、映画館、時間、座席を選んで支払う。購入後はQRコードや取票番号を使い、発券機で紙チケットを出せばOK。映画祭などの特別上映は「大麦」もチェックしたい。

音楽系

上海の音楽エンタメは、ジャズバー、ライブハウス、大型コンサートまで幅広い。座って聴く、立って盛り上がる、飲みながら楽しむなど、スタイルも多彩。言葉がわからなくても楽しめやすいのが魅力。

国際派はコレ！ 「Blue Note Shanghai」



世界的ジャズクラブの上海店。海外ミュージシャンの公演も多く、食事やドリンクを楽しみながら座って聴ける。音楽バー初心者でも入りやすい雰囲気。

中国派はコレ！ 「MAO Livehouse」



中国の若手バンドやインディーズ系アーティストを見るならライブハウスへ。観客との距離が近く、今の中国音楽シーンの熱気を体感できる。

チケットの取り方

音楽ライブのチケットは「大麦」や会場公式微信ミニプログラムで購入するのが基本。公演によって座席指定、スタンディング、当日チャージ制など形式が異なるため、購入時に確認を。

アート系

上海は美術館や博物館、商業施設の企画展が多く、アート初心者でも入りやすい。国際的な大型展から中国の歴史・現代アートまで幅広く、写真を撮りながら自分のペースで楽しめるのが魅力。

国際派はコレ！ 「シェイクスピアからJ・K・ローリングまで：イギリス文学者の肖像と軌跡」



英国文学者の肖像や原稿を紹介する展覧会。世界文学に触れられる内容で、中国語が苦手でも展示物そのものを見て楽しめやすい。

中国派はコレ！ 「肇興中国：秦・大一統之路文物考古特展」



秦が統一王朝へ歩んだ道のりを、出土文物からたどる考古展。中国史のスケールを感じられ、上海で中国文化を学ぶ入門展示としても使いやすい。

チケットの取り方

展示チケットは「大麦」「猫眼」、美術館・博物館の公式微信ミニプログラムで購入することが多い。展示名、日付、入場時間を選んで支払い、当日はQRコードや予約情報を提示して入館する。

歩いて楽しむ上海アート

上海は美術館や博物館、商業施設の企画展が多く、アート初心者でも入りやすい。国際的な大型展から中国の歴史・現代アートまで幅広く、写真を撮りながら自分のペースで楽しめるのが魅力だ。最近ではアニメ展や、没入型展示会も毎週のように行われている。

上海の音楽エンタメは、ジャズバー、ライブハウス、大型コンサートまで幅広い。座って聴く、立って盛り上がる、飲みながら楽しむなど、スタイルも多彩で、言葉がわからなくても楽しめやすいのが魅力。国際派なら「ブルーノート上海」のジャズライブへ。世界的ジャズクラブの上海店で、海外ミュージシャンの公演も多く、食事やドリンクとともにゆったり音楽を味わえる。一方中国カルチャーを感じるなら、「マオライブハウス」などのライブハウスで若手バンドやインディーズ公演をチェック。観客との距離が近く、今の中国音楽シーンの熱気を体感できる。